

《資料1》

第4回愛荘町庁舎等の あり方検討委員会資料

第3回検討委員会振り返り

令和2年5月26日(火)

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

第3回検討委員会における主な意見のまとめ

【秦荘庁舎・愛知川庁舎】

- ・愛知川庁舎と秦荘庁舎間の距離は数分であり、支所は不要ではないか。積極的にあいのりタクシーの利用を促すか、または、必要と認められる住民にはタクシーチケットを配布等してはどうか。
- ・支所を設けると表記されているが、出張所という考えもあるのではないか。
- ・秦荘庁舎を支所なら理解するが、出張所となると利便性が落ちる。
- ・50年を一つの区切りとしたならば、改修に費用を注ぎ込むよりも、新しく庁舎を建設し、現両庁舎を支所・出張所や他の用途に利用するなどの案は考えられないのか。
- ・10年後20年後に改修や建て直しをするのであれば、その費用も見据えたうえで新庁舎という方向性に変更できないか。
- ・片方の庁舎をバックアップ機能として残しておくのも一つではないか。
- ・資料2(P6)秦荘庁舎の「防災拠点としての安全性」で、防災拠点施設として使用するのであれば耐震が確保されていないので、評価が『C』ではなく課題があるとして『D』になるのではないか。
- ・資料2(P6)秦荘庁舎の「将来世代への負担の軽減」は、防災拠点として使用するのであれば、耐震判断、それに伴う改修工事が必ず必要となり、その費用がかかることを評価内容に記載しておくべきではないか。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

第3回検討委員会における主な意見のまとめ

【いきいきセンター・愛の郷】

- ・具体的の方針案の表現が分かりにくい。例えば、『総合福祉センター愛の郷をラポール秦荘いきいきセンターへ』というように表記してはどうか。
- ・具体的の方針案の表記は、施設を「2つとも残す」「片方を残す」とも読めるし、「2つとも除却して新しく建てる」とも読めるため、もう少し予断がない書き方をした方が良いのではないか。
- ・資料2(P11)いきいきセンターの評価項目の中で、「災害時の機能維持性」について、県道や国道307が1km以内にあり、評価に入れた方が良いのではないか。

【秦荘保健センター・愛知川保健センター】

- ・両方の保健センターを解体して、新しく愛荘町保健センターを建設されるのかなと解釈されてしまう恐れがあるので、もう少し分かりやすく表記した方が良いのではないか。
- ・それぞれ築年数が31年と33年と言うこともあり、解体して新たに一つにすることも良いのではないか。
- ・新しい保健センターを建設するのか、廃止した保健センターを改修して庁舎に利用するのか分かりづらい。
- ・具体的の方針案について、読み手側にとって複数の受け取り方ができるため、もう少し具体的に「〇〇〇を除却して□□□を残す」や「両方を除却して新しいものを建てる」などの表現にした方が良いのではないか。
- ・庁舎に盛り込むのか、新しく建て替えるのか分からない。建てるとするなら何のために建てるのか？その辺りが見えてこない。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

第3回検討委員会における主な意見のまとめ

【旧愛知川警部交番】

- ・土地を売却して財源とすることはできないか。
- ・何のために駐車場にするのか。駐車場としての必要性を表記する必要があるのではないか。

【その他】

- ・今回、具体の方針案が示され、これまで慣れ親しんできた施設の廃止や解体には複雑な思いがあるが、答申に向けて一層深く掘り下げた検討が必要である。(各施設ごとに意見を述べ合うことも必要。)
- ・下水道、道路、橋梁の改修など日々の住民の生活に関わるものや、教育・福祉の分野の整備は優先順位が高い。
- ・住民の文化に関わる古い施設は、現在あるほかの施設でも役割が果たせるため、積極的な集約と除却が望ましい。
- ・現状の施設で集約可能な部分を徹底的に集約し、除却することで、財政も節約される。
- ・具体的な方針案に示された内容は、本委員会で議論してきた事が大筋で盛り込まれている。町を次の世代に良い形で引き継ぐためにも、今回の方針案で良く、出来ればスピード感をもって進める必要がある。
- ・2つある施設を1つにするという考え方のもとでまとめるのであれば、今回、示された内容は合理的な選択だと思う。
- ・庁舎・福祉施設・保健センター・公民館について、廃止や解体をするのであれば、無くす方の施設の機能のフォローをしないと、住民に対する利便性が落ちる。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

第3回検討委員会における各委員の意見に対し、これまでの議論内容等を振り返りながら考えを整理します。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

秦荘庁舎・愛知川庁舎

今回の意見をまとめると・・・

- ① 秦荘庁舎は「支所」または「出張所」どちらで設置するのか。
- ② 新庁舎建設の可能性は考えられないか。
- ③ 秦荘庁舎の評価項目の内、「防災拠点としての安全性」の評価と「将来世代への負担の軽減」の評価内容の修正および追記してはどうか。

意見に対する考え方

- ① 行政機能の配置の最適化に向けた6つの基本的な考え方(原則)から、住民の利便性の向上として、秦荘庁舎を「支所」として位置付ける。
- ② 総合管理計画における施設の建替えは築60年で試算しており、愛知川庁舎は更新まで30年ある。新庁舎建設には、建設費用以外に用地取得や移転費用等、莫大な費用が必要となり、基金の積み立てなど長期的な対応が求められる。
- ③ 秦荘庁舎の「防災拠点としての安全性」の評価は『C』から『D』に変更する。また、「将来世代への負担の軽減」の評価内容について、耐震診断や耐震補強工事の費用が必要である旨を記載する。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

いきいきセンター・愛の郷

今回の意見をまとめると・・・

- ①福祉センター施設は1つに集約するのか、2つとするのか。
- ②いきいきセンターの評価項目の内、「災害時の機能維持性」の評価内容を修正してはどうか。



意見に対する考え方

- ①福祉センター施設は、ラポール秦荘いきいきセンターに集約する。ただし、現在提供しているサービスを低下させることなく、集約に向けて計画的に進める。
- ②いきいきセンターの「災害時の機能維持性」の評価内容について、愛荘町地域防災計画で示す第二次輸送道路(国道307号・主要地方道彦根八日市甲西線)を追記する。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

秦荘保健センター・愛知川保健センター

今回の意見をまとめると・・・

- ①両保健センターの建物は「解体」するのか「庁舎として使用」するのか。
- ②新たな保健センターを建設するのか。



意見に対する考え方

- ①秦荘保健センターは、商工会や子育て支援センターとの複合施設であるため、保健センターとしての看板を降ろし、当面の間は、健診や会議、各種事業の会場として広く活用する。
愛知川保健センターも同様に看板を降ろし、庁舎として有効活用する。
- ②新たに保健センターを建設するのではなく、保健センター機能を果たす健康推進課に、(仮称)愛荘町保健センターの看板を掲げる。

第3回検討委員会の意見等について(振り返り)

旧愛知川警部交番

今回の意見をまとめると…

- ① 駐車場としての必要性はあるのか。
- ② 土地を売却して財源確保は考えられないのか。



意見に対する考え方

- ① 健診等の事業実施の際には、駐車場スペースが不足しているため、庁舎集約にともなう来庁者・職員・公用車の増加により、駐車場を確保する必要がある。
- ② 売却はせず、来庁者・職員・公用車の駐車場として整備する。